

緑と花の県民運動運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課		課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [2 成長を創る (産業力)] 政 策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<p>緑と花の県民運動の一層の盛り上げのために、効果的な県民運動大会の開催が必要である。</p>						<p>福井県森づくり条例第12条で「森づくりの日（6月の第一日曜日）」を定めており、当該日にその趣旨にふさわしい行事を実施するよう努めなければならない。</p>									
[事業目的]															
<p>平成21年に開催された第60回全国植樹祭を契機として実施してきた3つ区分の県民運動が、一過性のものではなく永続的に実施できるよう県民運動推進委員会を開催し、北陸新幹線敦賀開業に向け、緑と花の県民運動をより一層推進していく。</p>															
[事業内容]															
<p>○県民運動推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの区分の県民運動（緑と花のふるさとをつくる運動、元気な森をつくる運動、自然を知り伝える運動）において、広く県民の参加が得られるための施策やイベント内容を検討し、円滑に実施するため、各種関係団体からなる県民運動推進委員会を開催する。 															
[受益者] 緑と花の県民運動参加者						[想定される受益者数] 約6万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

緑と花の県民運動運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	109				109							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		116	109	109	109	109						
2月現計予算額の推移		86	109	109	109							
決算額の推移		38	29	28								
前年度までの 主な増減理由	R3：緑と花の県民運動推進委員の減（16名→15名）											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県民運動参加者数	(目標) (60,000) 実績 24,423	(60,000) 28,974	(60,000) 49,000	(60,000) 65,000	(95,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人			
活動指標	推進委員会開催数	(目標) (3) 実績 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3)	(3)	(3)	県民運動大会の前後、次年度計画および予算の審議など必要に応じて3回程度開催			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
北陸新幹線開業に向けた研修や全国育樹祭関連イベントを実施し、県民運動参加者数を目標どおり達成 また、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、県民運動大会を感染拡大前の規模に戻して開催した。 【R5】 県民運動参加者数：65,000人 推進委員会開催数：3回				令和6年度は全国育樹祭が開催されることから、県民の機運を更に高める大会となるよう推進委員会で協議を行っていく。 また、令和5年度に引き続き2日間の開催や飲食物の販売を行い、参加者数増加につながる大会開催を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

みどりと花の県民運動大会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]								
[解決すべき問題・課題] ・「緑と花の県民運動」を広く県民に知らせ、運動の拡大を図る必要がある。 ・福井県森づくり条例第12条に定められている「森づくりの日」に、趣旨にふさわしい行事を実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県森づくり条例第12条で「森づくりの日（6月の第一日曜日）」を定めており、当該日にその趣旨にふさわしい行事を実施するよう努めなければならない。									
[事業目的] “緑と花”と、さまざまな福井の魅力を融合させたイベントを実施することにより、来場する幅広い層の県民に対し、「緑と花の県民運動」の周知を行い、運動の拡大を図るため、みどりと花の県民運動大会を開催する。															
[事業内容] ○6月第1日曜日の「森づくりの日」に開催 ・ふくいの森林・林業基本計画の一層の推進および「緑と花の県民運動」参加者拡大を図るためのイベントを開催															
[受益者] 緑と花の県民運動参加者						[想定される受益者数] 約6万人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	市町の観光連盟がPRブースを設置するなど連携して大会を開催					他県の状況	・石川県 県主催「県民みどりの祭典」を実施								

みどりと花の県民運動大会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H23 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					経過年数	14 年							
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	9,370				9,370									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		6,630	3,751	4,400	9,370	9,370								
2月現計予算額の推移		2,220	3,751	4,400	9,370									
決算額の推移		2,220	3,751	4,400										
前年度までの 主な増減理由	R元：実施イベント数の減による減額 R3：新型コロナウイルス感染症に鑑み、開催規模を2日から1日に縮小して開催したことによる減額 R4：実施イベント数の増による増額 R5：開催日数の増（1日→2日）													
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県民運動参加者数（人）	(目標) (60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(95,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人					
		実績 24,423	28,974	49,000	65,000									
活動指標	県民運動大会開催数	(目標) (1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	6月第1日曜日の「森づくりの日」に開催					
		実績 1	1	1	1									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、県民運動大会を感染拡大前の規模に戻した。 土日の2日間開催としてイベントの数や回数を増やしたことから、大会参加者数が15,000人となり、県民運動参加者数の増加にもつながった。				令和5年度に引き続き2日間の開催とするほか、令和6年度は第47回全国育樹祭開催年度となることから関連イベントを増やし、より多くの県民が来場・参加できる大会とする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

花と緑の美しいまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					5 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [2 成長を創る (産業力)] 政 策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等	[ふくいの森林・林業基本計画 FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題] 平成21年の全国植樹祭を一過性のイベントとせず、永続的に県民運動に取り組む(第60回全国植樹祭開催方針)。 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県民が主体となって森林や木、花に関する「緑と花の県民運動」を推進する。						[問題・課題を表す客観的データ] 第60回全国植樹祭開催方針の「平成21年の全国植樹祭を一過性のイベントとせず、永続的に県民運動に取り組む」という記載に基づき県民運動を継続していく必要がある。						
[事業目的] 県下全域において花づくりに取り組む人材を育成し、あわせて花の展示イベント等を開催することにより、花と緑であふれる美しく住みよいまちづくりや、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた花の景観づくりを推進する。												
[事業内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ 花と緑の景観づくりに関する講座や研修の開催 ・ 学校や地域、家庭で花づくり活動に取り組む児童・生徒の育成 ・ 花いっぱい運動推進員を中心とした地域における花づくり活動への支援 ・ 地域の美化活動に合わせた花づくり活動への支援 ・ 北陸新幹線4駅に設置したおもてなし花壇の維持管理 												
[受益者] 緑と花の県民運動参加者						[想定される受益者数] 約6万人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 花いっぱい運動推進事業 (実績) 県下全域で花いっぱい運動を展開し、地域において花いっぱい運動の機運を醸成。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		市町が地域団体と共に実施する花や花木の植栽に指導者を派遣				他県の状況		・ 富山県 花や緑に関するイベントや、花壇コンクール等実施 ・ 石川県 ふるさとづくりの一環として、花壇コンクールを実施				

花と緑の美しいまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,151			(入) 511	13,640	環境保全基金繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	11,041	9,686	8,928	14,812	14,151	花いっぱい運動推進員に対する活動支援費用の減 (△428千円)						
2月現計予算額の推移	10,755	9,686	8,928	14,812								
決算額の推移	10,152	9,285	8,122									
前年度までの 主な増減理由	R3：花いっぱい運動推進員に対する活動支援費用の減 (△1,994千円) R4：花いっぱい運動推進員に対する活動支援費用の減 (△710千円) R5：おもてなし花壇の設置による増											
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県民運動参加者数 (目標)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(95,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人			
	実績	24,423	28,974	49,000	65,000							
活動指標	花と緑の景観づくり研修 開催数 (目標)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	年28回開催			
	実績	19	28	29	29							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた寄せ植え研修や、令和6年10月に開催する全国育樹祭の関連イベント等を実施し、県民運動参加者数を目標どおり達成				北陸新幹線福井・敦賀開業や全国育樹祭で来県する観光客を花でおもてなしするため、寄せ植え研修やおもてなし花壇の設置等を引続き実施し、県民運動参加者数の拡大につなげる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	661	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいの林業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課		課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [2 成長を創る (産業力)] 政 策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]								
[解決すべき問題・課題] 林業の担い手不足を解消するため、林業に興味を持つ幅広い人材の確保が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内林業経営者数 (個人) H22 : 2,440 → H27 : 1,164 → R2 : 300									
[事業目的] 森林・林業・木材産業の人材育成拠点として総合グリーンセンターの機能を強化し、技術研修を充実させるとともに、林産物の流通・販売に係る活動支援を実施する。															
[事業内容] ○林業研修・ビジネスの強化 ・林業の普及啓発および技術習得に向けた研修会や体験会を開催 ・DIY講座等を通じて、県産材の良さをPR															
[受益者] 県内の林業従事者等						[想定される受益者数] 約6,000人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

ふくいの林業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	4,438	197		(入) 4,241				・食料産業・6次産業化交付金 ・森林環境譲与税繰入金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,360	4,770	4,822	4,406	4,438	インターンシップ研修生の旅費の増					
2月現計予算額の推移		4,713	4,770	4,822	4,406							
決算額の推移		4,663	4,765	4,729								
前年度までの 主な増減理由		R元：研修実施方法を精査（類似研修を統合）し経費削減、特用林産物技術研修の回数を増加 R2：もり人づくり事業を統合（事業の効率化と一部事業規模の縮小） R3：講座回数の見直しによる報償費、消耗品費、通信運搬費、委託料の減 R4：研修内容変更による増額（県外講師の増） R5：DIY講座の開催日数の減（12日→5日）										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	林業教室参加者数（人）	(目標) 200	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	年200人参加			
		実績 351	281	300	411							
活動指標	研修実施回数	(目標) 200	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	年200回実施			
		実績 129	136	146	147							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
研修参加者等からの要望を踏まえ研修を開催したが、活動指標は達成できなかった（目標：200回⇒実績147回）。 しかし、林業教室参加者数は目標を大幅に超えて達成できた。				・参加人数及び研修実施回数の増加を目指し、引き続き効果、要望の高い研修を効率的に実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

がんばる自伐（小さな林業）応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	自伐林家、自伐型林業団体、特用林産物生産者、ふくい自伐型林業協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	定額、1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
県内において、整備されていない森林の多くは、個人が所有する一人当たりの面積が小さな森林であり、森林管理の担い手がない状況である。						<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内林業経営者数(個人) H22: 2,440 → H27: 1,164 → R2: 300 ・ 県内自伐林家数 H26: 57人 → H30: 50人 → R2: 70人 								
[事業目的]														
自伐林家等が林業に取り組みやすい環境づくりや自立に向けた活動に支援し、山村で活動する山の担い手拡大と地域活性化を進める。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住者を「地域おこし協力隊」として雇用し、自伐型林業学校のサポート、自伐型林業の実践や普及・PR活動を実施(委託) ・ 自伐型林業学校の運営経費に対し支援 (補助率: 定額 補助上限: 500万円) ・ 自伐型林業学校の研修生に対し、研修期間中の生活を支援 (補助率: 定額 補助上限: 32万円) ・ 自伐型林業学校の卒業生に対し、自伐型林業団体所属後の生活を支援 (補助率: 定額 補助額: 最大9千円/日(活動日数に応じて支給、最大3年間)) ・ 新たに県内へ移住し、林業関係者のもとで林業活動を始める人へ給付金を給付 (補助率: 定額 補助額: 100万円) ・ 自伐型林業等を進めるため、技術習得研修や安全対策経費に対し支援 (補助率: 定額 補助上限: 85万円) ・ 自己所有林を活用し自伐や特用林産物生産を行う取組に対し支援 (補助率: 1/3 補助上限: 140万円) 														
[受益者] 林業従事者、森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 森林資源活用支援事業 (実績) 里山を活用し木材生産や特用林産物生産を行う取組に対し支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況								

がんばる自伐（小さな林業）応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	自伐林家、自伐型林業団体、特用林産物生産者、ふくい自伐型林業協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	定額、1/3													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	68,210			(入) 24,380	43,830		森林環境譲与税繰入金、特別交付税（地域おこし協力隊）							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				13,900	33,320	68,210	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊の活用による増（2人→7人） ・ 自伐型林業学校卒業後の生活支援による増 							
2月現計予算額の推移				8,930	26,335									
決算額の推移				5,587										
前年度までの 主な増減理由	R5：地域おこし協力隊の活用による増、自伐型林業学校の運営支援による増													
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内自伐林家数 (目標)			(75)	(90)	(105)	(105)	(165)	県内の自伐林家数（自伐型林業）15人/年増					
	実績			75	94									
活動指標	自伐型林業団体支援件数 (目標)			(2)	(3)	(5)	(5)	(10)	県内で活動する自伐型林業団体への支援数					
	実績			2	3									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
県内の自伐型林業団体への支援数について目標どおり達成でき、県内自伐林家数も目標数を達成した。 【R5】 ・ 地域おこし協力隊の雇用（2名） ・ 自伐型林業を目指す移住者に対し給付金を給付（1名） ・ 自伐型林業学校の運営経費に対し支援（37名受講） ・ 自伐型林業団体が行う研修等への支援（2団体） ・ 特用林産物生産者等の活動へ支援（15団体）				・ 令和6年度についても、引き続き自伐林家や自伐型林業団体への支援を行うとともに、地域おこし協力隊の採用人数の拡大や自伐型林業学校の卒業生に対する生活支援を新たに実施し、自伐林家の定着を図り、山村地域の活性化につなげる。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

森のビジネス支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県、林業者、特用林産物生産者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	1 年		
補助率	1/2, 1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
自伐型林業や一品目の特用林産物生産を行う者が、山村地域で定住するためには、副業により収入を確保する必要がある。						<ul style="list-style-type: none"> ・ 自伐林家収入: 328万円 (平均給与: 443万円) ・ 新規生産者 (香福茸) の初期費用: 120万円 						
[事業目的]												
森林を活用した副業ビジネス(半X)を行う自伐型林業者や特用林産物生産者などに対し支援を行い、定住者および森林ビジネスの新たな担い手を確保し、山村地域の活性化を進めていく。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 副業として新たに森林ビジネスに取り組む者の初期整備や既存生産者の規模拡充を支援 補助率: 1/2 (新規)、1/3 (継続) ・ 初心者に対する研修会の開催や専門家の派遣による個別技術指導を実施 												
[受益者] 森林所有者、特用林産物生産者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 山の担い手活性化支援事業 (実績) 県内の自伐林家等が半林半Xで新たに森林を活用した副業を行う初期投資経費に対し支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

森のビジネス支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県、林業者、特用林産物生産者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助					経過年数	1 年							
補助率	1/2, 1/3					1 年	1 年							
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,586				2,586									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						2,586								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	山村地域における新たな担い手数 (目標) 実績					(10)	(30)	(100)	山村地域における新たな定住者および担い手数					
活動指標	森のビジネス支援件数 (目標) 実績					(10)	(30)	—	県内で森林を活用したビジネスに取り組む自伐林家等への支援数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいの森林の魅力新発見事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課		課長名	土橋 寛徳
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画 FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] ふくいSatoyamaトレイルについてランニングやウォーキングなどスポーツ的な利用が多く、レジャーの一環として今後も更なる利活用が見込まれる反面、一つのトレイルコースが分散しているため周遊性に欠ける。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内に県が設定したトレイルコースが12コースあるが、各市町に1コースずつとなっており分散している。						
[事業目的] 里山トレイルを活用した地域活性化の取組をさらに強化するとともに、森林空間や里山資源を活用する森林体験への取組に支援し、県内外からの誘客を図る。												
[事業内容] ○トレイル関連の情報発信強化(県)												
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいSatoyamaトレイル推進事業 (実績) ふくいの里山などの名所・旧跡や美しい景観を巡るウォーキングトレイルコースを周知し、中山間地域の振興を図る。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいの森林の魅力新発見事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	県1/2					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	251				251									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		65,636	122,381	125,259	251	251								
2月現計予算額の推移		63,201	100,251	125,259	251									
決算額の推移		63,201	73,851	80,350										
前年度までの 主な増減理由	R2：新たなトレイルコースの整備（若狭町） R3：若狭町の事業費（要望額）の増額 R4：若狭町の事業費（要望額）の増額 R5：若狭町の事業完了による減													
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	トレイルコース利用者数 (目標) 実績	(23,000) 25,627	(24,000) 26,532	(25,000) 29,040	(26,000) 30,468	(27,000)	(27,000)	(43,000)	年間1,000人の増					
活動指標	若狭アドベンチャーツー リズム拠点整備完了 (目標) 実績	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(1)	—	—	令和5年度完了予定（整備は3か年計画であるが事業繰越のため）					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
・若狭アドベンチャーツーリズム拠点の整備完了 ・トレイルイベント増により、トレイルコース利用者数の増加 ・ふくいSatoyamaトレイルアプリの更新・保守				ふくいSatoyamaトレイルアプリの更新・保守				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

全国育樹祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
令和6年度の開催に向け準備を進めていく必要がある。						令和6年度の第47回全国育樹祭本県開催が決定した。								
[事業目的]														
令和6年度に開催予定の第47回全国育樹祭に向けて、実行委員会を設置し、開催準備を進める。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国育樹祭の開催に向けた広報等普及啓発 ・ 全国育樹祭行事（お手入れ行事、式典行事）の実施 ・ 各種併催・記念行事の実施 														
[受益者] 全国育樹祭参加者						[想定される受益者数] 2万人～2.3万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況	平成30年度：東京都 令和元年度：沖縄県 令和3年度：北海道 令和4年度：大分県 令和5年度：茨城県							

全国育樹祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	—											3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	424,651				424,651									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			7,070	27,223	424,651	開催準備費の増								
2月現計予算額の推移			7,070	26,743										
決算額の推移			4,794											
前年度までの 主な増減理由	R5：開催準備費の増													
[成果指標等の推移]														
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	県民運動参加者数(人)	(目標) (60,000) 実績 24,423	(60,000) 28,974	(60,000) 49,000	(60,000) 65,000	(95,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人					
活動指標	全国育樹祭開催	(目標) 実績		(0) 0	(0) 0	(1)	(1)	(0)	令和6年度開催					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民運動参加者数：65,000人 ・ 基本計画の策定 ・ 国民参加の森林づくりシンポジウム開催(R5.11月) ・ 福井県緑の少年団活動発表大会開催(R5.12月) ・ 県内各地区で県民育樹活動を実施(R5.6~11月) 				県民運動大会や各種広報などを通じて第47回全国育樹祭の開催に向けた機運を醸成し、令和6年10月に全国育樹祭行事(お手入れ行事・式典行事)や各種併催・記念行事を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

林業DX推進対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課		課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [2 成長を創る (産業力)] 政 策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]								
[解決すべき問題・課題] ・ 施業地の確保には、現地調査や施業提案書など多大な労力を必要とするため、航空レーザ計測から得られた精度の高い森林資源データを用いて省力化を図る必要がある。 ・ 森林経営管理制度や森林環境譲与税の創設により、行政の森林整備に対する役割が重要化している。						[問題・課題を表す客観的データ] ・ 県産材生産量：22.5万m ³ (R2実績) → 25.0万m ³ (R6目標) ・ 航空レーザ計測：74,573ha (R2実績) → 272,824ha (R6目標)									
[事業目的] 県産材生産量の拡大を図るため、精度の高い森林情報の共有・活用により施業地確保の省力化を行う。															
[事業内容] ○森林クラウドシステム導入事業 ・ 森林クラウドシステムの導入 ・ 森林簿データおよび森林計画図データの適正化 ・ システムの保守点検委託 ○航空レーザ計測による地形・資源のデジタル化事業 ・ 航空レーザ計測の実施															
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな森林管理システム促進事業 (実績) 現状森林GISシステムの業務分析および診断を行い、クラウドシステムへの移行が妥当かどうか判断。 →妥当であると判断した。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 事業名 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況		・ 森林クラウドシステム導入済み 34/47都道府県 (令和6年度1月時点) ・ 石川県 (H29) ・ 新潟県、富山県、岐阜県 (R3) ・ 静岡県、和歌山県 (R4)							

林業DX推進対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-								□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	204,805	200,547		(入) 4,258		<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林資源デジタル管理推進対策 ・ 森林環境譲与税繰入金 								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				228,572	238,211	204,805	航空レーザ計測の実施面積の減							
2月現計予算額の推移			73,654	122,744	68,606									
決算額の推移			0	134,121										
前年度までの 主な増減理由		R5：航空レーザ計測の実施面積の増												
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県全体の県産材生産量 (m3)	(目標) 203,000 実績 225,000	(215,000) 231,000	(240,000) 242,000	(245,000) 247,000	(250,000)	(250,000)	(250,000)	ふくいの森林・林業基本計画（令和6年度に250,000m3）					
活動指標	航空レーザ計測 (ha)	(目標) 74,573 実績 74,573	(93,093) 93,093	(126,310) 126,310	(152,026) 152,026	(181,479)	(272,824)	(272,824)				県内全域の航空レーザ計測を実施		
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大野市（一部）、若狭町の航空レーザ計測および森林資源解析データの整備完了 ・ 福井県森林クラウドシステムの運用・保守 ・ 福井市（旧美山町、旧越廼村、旧清水町）、敦賀市、小浜市、鯖江市、永平寺町、南越前町、越前町の森林簿および森林計画図データの適正化 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 未計測の市町における航空レーザ計測 ・ 福井県森林クラウドシステムの運用・保守 ・ 未実施の市町における森林簿および森林計画図データの適正化 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	33,406			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	森林組合、広域有害鳥獣対策協議会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] シカ生息数の増加およびそれに伴う森林の立木被害や食害による下層植生の消失。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和元年度クマ・シカによる被害面積 : 56.9ha						
[事業目的] 森林組合によるシカ捕獲活動を支援するとともに、県内モデル地区における先進的手法によるシカ捕獲を推進する。												
[事業内容] ○森林組合によるシカ捕獲活動への支援 ・ 捕獲技術力向上のための研修費および捕獲活動に係る労務費等への支援 ○先進的手法によるシカ捕獲活動への支援 ・ 森林内での効率的・効果的な捕獲を推進するため、モバイルカリングやICTを活用した囲いわななど先進的手法によるシカ捕獲活動への支援												
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	森林組合、広域有害鳥獣対策協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助								経過年数	11 年		
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,400	6,400				鳥獣被害防止総合対策交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,300	6,800	6,900	6,400	6,400							
2月現計予算額の推移	7,300	6,800	6,072	6,400								
決算額の推移	7,300	6,800	6,072									
前年度までの 主な増減理由	R1 : 先進的手法によるシカ捕獲活動への支援事業の終了に関する経費の減額 R2 : シカ捕獲活動への支援に関する経費の減額 (各森林組合の要望額) R3 : シカ捕獲活動への支援に関する経費の減額 (各森林組合の要望額) R4 : シカ捕獲活動への支援に関する経費の増額 (各森林組合の要望額) R5 : シカ捕獲活動への支援に関する経費の減額 (各森林組合の要望額)											
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	シカ捕獲頭数 (頭)	(目標) (50) 実績 82	(50) 73	(50) 65	(50) 58	(50)	(100)	森林組合による捕獲活動50頭				
活動指標	事業実施組合数	(目標) (10) 実績 10	(10) 10	(10) 10	(10) 10	(10)	(10)	年県内10組合実施				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
県内すべての森林組合で職員の狩猟免許取得やシカの捕獲を推進 【R5】 事業実施森林組合数：10組合 狩猟免許取得者数：2人 シカ等捕獲頭数：58頭 (見込)				県内すべての森林組合で職員の狩猟免許取得やシカの捕獲を推進 【R6】 事業実施森林組合数：10組合 狩猟免許取得者数：2人 シカ等捕獲頭数：50頭				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

低コスト再造林に向けた育林体系の確立

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]							
[解決すべき問題・課題] 森林資源の循環利用を進めるためには、主伐後の再造林経費のうち約7割を占める初期経費の低コスト化を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・スギの伐期：80年 ・本県の気候や地質に適応した低密度植栽の育成技術の知見がない。								
[事業目的] 低密度植栽地（1,500本～2,000本）における生育分析と大苗植栽による低コスト化の検証														
[事業内容] ○福井県に適応した低密度植栽の確立 ・低密度植栽地における生育調査・分析 ○造林初期経費を軽減する保育施業の確立 ・植栽密度別及び大苗植栽による下刈り経費の検証 ・大苗植栽による冬期被害および獣害被害対策の検証														
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

低コスト再造林に向けた育林体系の確立

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	251	125			126	林業普及指導事業交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				338	251	消耗品費の減						
2月現計予算額の推移				338								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	育林経費の低コスト化 (%)	(目標)		(6)	(12)	(30)	(30)	従来の初期費用(雪起し・下刈り等)を30%削減できる技術を体系化				
		実績		0								
活動指標	低密度植栽箇所数	(目標)		(2)	(2)	(2)	(2)	嶺北2か所を実施				
		実績		2								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
関西育種場からの試験木苗木の配布が遅れたことにより、植栽時期に遅れが生じたため、今年度は試験を行うための準備(植栽)しかできなかった。 【試験木の植栽】 ・福井市一ノ瀬(1.92ha 関西育種場検定林含む) 試験木 約1,000本(令和6年3月植栽) ・福井市縫原(0.12ha) 試験木 約146本(令和5年12月植栽)				次年度以降は、低密度植栽に係る管理および保育施業の検証等を行い、低コスト再造林の育林方法等を確立していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	87	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

農地土壌の炭素貯留能力を向上させるバイオ炭資材等の開発

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]							
[解決すべき問題・課題] 定期的に発生される剪定枝等のバイオマスの処理が問題となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 剪定枝等の一部は木質バイオマス発電所の燃料として利用されているが、燃焼灰の処理に年間2,500万円がかかっている。								
[事業目的] 「脱炭素社会」の実現に向けて、農地、森林および沿岸生態系の炭素吸収源としての能力を最大限に発揮させるため、農地土壌の炭素貯留能力を向上させるバイオ炭等を開発する。														
[事業内容] ○農地土壌の炭素貯留、肥効、N20排出削減に資するバイオ炭混合資材等の開発 ○地域で循環しうるバイオ炭製造とその施用モデルを構築 ○バイオ炭およびバイオ炭堆肥による土壌炭素貯留効果の総合評価														
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

農地土壌の炭素貯留能力を向上させるバイオ炭資材等の開発

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	34,600			(諸) 34,600		農林水産費受託事業収入						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		24,000	33,990	33,990	34,252	34,600	構成員への負担金の増					
2月現計予算額の推移		35,000	30,020	27,305	24,365							
決算額の推移		33,768	30,001	27,146								
前年度までの 主な増減理由		R3：職員旅費を当課が計上することによる増額 R5：構成員への負担金の増										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農地等でのバイオの施用 (目標) 実績	(0) 0	(0) 2	(1) 3	(3) 3	(4)	(4)	(4)	令和6年度までに県内4地区(福井・坂井、奥越、丹南、嶺南)で施用			
活動指標	バイオ炭づくりの実証試験数 (目標) 実績	(6) 6	(12) 9	(3) 3	(3) 2	(3)	(0)	(0)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
○農地等でのバイオ炭施用3地区 ・水稲(坂井市2地区)、サトイモ(勝山市1地区) ○バイオ炭づくりの実証実験2回 ・林試式移動炭化炉でスギ間伐材を原料とした炭化試験を2回実施 ・バイオ炭製造マニュアルを作成				○農地等でのバイオ炭施用6地区 ・サトイモ(勝山市3地区)、ネギ(大野市2地区)、ダイズ(勝山市1地区) ○バイオ炭製造マニュアルを活用した研修会の開催				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

香福茸生産パワーアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳	
事業主体	県、香福茸生産者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	4 年		
補助率	1/3											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[ふくいの森林・林業基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
香福茸の生産量を拡大するためには、新規生産者確保および既存生産者の規模拡大ならびに原木の安定調達が必要である。						<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規生産者の初期費用：約3,500千円 ・ 年間原木必要数77,400本に対し、年間原木調達可能数48,000本 						
[事業目的]												
県産ジャンボ原木しいたけ香福茸の生産に必要な原木を確保するとともに、生産者の生産施設整備を支援し、安定して供給できるブランド品目としての定着を目指す。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 香福茸生産拡大支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規生産者の初期設備や既存生産者の規模拡大を支援 ・ 生産者への研修会と技術指導等を実施 ○ 原木確保事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ コナラ・クヌギ原木賦存量を調査 												
[受益者] 特用林産物生産者、青果市場関係者、森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		石川県ではジャンボ原木しいたけ「のとてまり」について「のとてまりブランド化推進事業」を実施 (内容) ・ 発生試験と栽培マニュアルの更新 ・ 協議会活動費 (講習会、巡回指導、PR、販路開拓、フェアなどイベントの開催)				

香福茸生産パワーアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	土橋 寛徳			
事業主体	県、香福茸生産者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			2,010	2,010	2,010									
2月現計予算額の推移			1,517	2,010	2,010									
決算額の推移			1,378	2,010										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	香福茸生産量(kg) (目標)		(700)	(860)	(1,000)		(1,000)	(3,000)	新規生産者の参入および既存生産者のハウス増設により、毎年160kgの香福茸の生産量拡大を目指す					
	実績		125	250	250									
活動指標	栽培研修会の実施(回) (目標)		(2)	(4)	(4)		—	—	新規生産者募集のため、植菌体験会を開催(R3~R5) 新規生産者のため、技術向上研修会を開催(R3~R5)					
	実績		4	4	4									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
ハウスの増設や研修会の開催により技術向上を図るなど、生産者への支援は目標通り達成できた。 生産者は令和2年度の6名から13名に倍増したものの、原木しいたけ栽培自体が初心者であり必要な技術の習得が不十分であったため目標とする生産量に届かなかった。 【R5】 ・研修会の実施により新規生産者3名を確保した。 ・既存生産者6名のハウスやホダ場の創設・改良に支援した。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,010			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				